



『実践する総合生存学』

池田裕一 編著

京都大学総合生存学研究会 著

ISBN 978-4-8140-0296-2 C1030

A5判並製、約500頁

予価本体3700円

京都大学学術出版会

2021年1月下旬発行



学館内外の複数の教員・学生が参加する「課題駆動型 Issue driven」, 「文理融合型 Integration of arts and sciences」の研究会

- 分野横断型・実践型の研究の推進 Transdisciplinary and Practical Study
- 企業等との共同研究の推進 Collaboration with Industries
- 総合生存学の成果を社会へ発信 Appeals of Research Outcome to Society

環境災害研究会
Environmental Disaster RG

持続可能な経済研究会
Sustainable Economy RG

資源・エネルギー政策
研究会
Natural Resources and Energy Policy RG

ネットワーク社会
研究会
Network Society RG

総合生存学研究会
Human Survivability Study RG
メタ研究会, 個別課題解
決策のトレードオフ,
学生と教員の意見交換
Meta-research group, Tradeoff
between the global issues,
Opinion exchange

国際開発研究会
International Development RG

生の哲学研究会
Philosophy of Life RG

生涯発達と社会包摂
研究会
Lifespan Development and Social Inclusion RG

未来智慧研究会
Future Wisdom RG

レジリエント社会創造
研究会
Creating Resilient Societies RG

グローバルコモディティ
問題研究会
Global Commodity Issues RG

アートイノベーション
研究会
Art Innovation RG

相互依存下の国際政治経済研究会
Global Politics, Finance, and Economy
under Interdependences RG

前書き

プロローグ 人民の国における、人民の手による農村発展

パートI われわれはどこから来たのか

第1章 実践の大海原へ泳ぎだした総合生存学

第2章 開発問題への接近

パートII 地球の有限性から何がみえるのか

第3章 工途上国における再生可能エネルギーへの転換の現状と課題

第4章 再生可能エネルギーは人にも優しいのか？

第5章 コモディティはグローバル問題を解くキーワード

パートIII なぜ生と死を凝視するのか

第6章 生き方としての哲学

第7章 生涯にわたる心の可塑性

パートIV どのように社会と歴史に向かい合うのか

第8章 ビッグデータとネットワーク科学が描くグローバル分断構造の実像

第9章 レジリエントな社会を創る

第10章 地球・宇宙・総合生存学へ

パートV われわれはどこへ行くのか

第11章 総合生存学としてのアート：グローバル社会における日本美の役割

第12章 情報乱雑さで生きることを考えてみる

あとがき

報告 総合生存学とアジアのSDGs

分担執筆者とボックス執筆者



教員（15人）

デロッシュマルク=アンリ
ヤルナゾフディミターサボフ
関山健
吉田朋央
金村宗
山敷庸亮
清水美香
積山薫
池田裕一
中津良平
土佐尚子
武田英俊
寶馨
櫻井繁樹
趙亮

修了生，在學生（39人）

キーリーアレクサンダー竜太
ボリコチャールズンブリ
リベイロブルーノ
阿部久恵
羽尾一樹
奥勇紀
王虹方
岡村森
嘉澤剛
河崎レイチエル慧
関大吉
岩寄唱子
桐山京子
栗木駿
向井達郎
高橋朝晴
佐々木勇輔
佐田宗太郎
佐藤大介
佐伯直樹

朱瑩穎
周敬棠
孫燁
大村榛菜
大木有
中本天望
長沼祥太郎
鶴羽愛里
田中仁海
田中勇伍
渡辺彩加
土田亮
藤村奈々緒
藤田萌
夫津木廣大
平尾和正
木村なみ
野村亜矢香
野田旬太郎

京都大学 第27代総長 湊 長博 医学博士

新型コロナウイルスのパンデミックによって、地球規模での人類の諸課題の解決は個別科学の発展だけでは難しいことが、はからずも明らかになった。総合生存学とは、文理融合型の学術研究に加えその研究成果を現実に社会実装することにより、人類の生存のための地球規模での諸課題の解決を目指すものである。本書には、このような強い志のもとに、学生と教員が日々対話と議論をかさねながら挑む姿が生々しく描かれている。次世代を担う若者たちに是非本書を薦める。

DMG森精機株式会社 取締役社長 森 雅彦 博士(工学)

2020年見えない敵が生み出した新たな生活は、予想外にも“世界共通の文化”となり今後のビジネス界、ことデジタル市場に大きな可能性をもたらしました。同時に人類が向き合ったのは「生存する」という事。各分野に特化した専門家の意見は全く通用せず事態は必要以上に重大化しました。生存するためのサステイナブルな解決策とは何なのか。今だからこそ俯瞰的に考えたい、そして総合生存学を学ぶ若き精鋭たちに大いに期待したいと思います。